

## 地理歴史科（歴史総合）学習指導案

## 1 単元名 国民国家と明治維新

「B 近代化と私たち」の「(3) 国民国家と明治維新」

## 2 単元目標

- (1) 欧米の国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争などを基に、立憲体制と国民国家の形成、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。
- (2) 国民国家の形成や帝国主義政策の背景、アジア・アフリカに与えた影響などに着目して主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革や国民国家の特徴、社会の変容や帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。
- (3) 明治維新と日本の近代化について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

## 3 単元計画(全体8時間)

## (1) 指導計画

- ・明治維新 1時間
- ・富国強兵と文明開化 1時間
- ・日本の明治初期の外交 1時間
- ・大日本帝国憲法の制定 2時間（本時5/8）
- ・日本の産業革命と日清戦争 1時間
- ・帝国主義 1時間
- ・日露戦争と韓国併合 1時間

## (2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・欧米の国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争などを基に、立憲体制と国民国家の形成、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。	・国民国家の形成や帝国主義政策の背景、アジア・アフリカに与えた影響などに着目して主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、国民国家や帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・明治維新と日本の近代化について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養おうとしている。

## (3) 指導内容及び評価計画

(○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

時	学習内容	ねらい・学習活動	評価の観点			(B) 具体的な評価規準 (C) 具体的支援	評価方法
			知	思	態		
第1時	【学習課題】〈単元を貫く問い〉「日本の近代化や欧米諸国の帝国主義政策が世界にもたらした影響はどのようなものだろうか」 〈問い〉「明治新政府はどのように新国家を建設しようとしたのだろうか」 ・明治維新	・明治新政府が天皇中心の新国家を建設した経緯を考察する。 ・日本の近代化に見通しをもつ。		●	●	(B) 大政奉還を行った徳川慶喜の思惑とこれに対する倒幕派の反応について考察し、表現できている。 (B) 日本の近代化について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 (C) 個別に支援する。	・ワークシート ・小テスト ・ロイロノートによる記述 ・振り返りシート
第2時	・富国強兵と文明開化 【学習課題】〈問い〉「日本は欧米諸国に追いつくためにどのようなことに取り組んだのだろうか」	・明治政府の進めた富国強兵の具体的な内容を理解する。 ・欧米の産業技術の導入が日本の文化や生活に与えた影響について考察し理解する。	●	●	●	(B) 徴兵令・地租改正・殖産興業の概要、文明開化について理解している。 (B) 資料や図版などから、文明開化による変化について考察し、表現している。	・小テスト ・ワークシート、ロイロノート、振り返り等の記述

時	学習内容	ねらい・学習活動	評価の観点			(B) 具体的な評価規準 (C) 具体的支援	評価方法
			知	思	態		
第3時	<ul style="list-style-type: none"> <li>明治初期の外交</li> <li>【学習課題】〈問い〉「明治時代の初期に、政府は諸外国とどのような関係を築いていったのだろうか」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>明治初期の日本が抱えていた外交課題について理解する。</li> <li>明治政府の外交が欧米と近隣諸国とでは異なることを考察する。</li> </ul>	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>(B) 不平等条約の解消が大きな課題であったことと、欧米と近隣諸国との外交姿勢の違いを理解している。</li> <li>(B) 明治初期の外交の特徴を考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テスト</li> <li>ワークシート、振り返り等の記述</li> </ul>
第4・5時	<ul style="list-style-type: none"> <li>大日本帝国憲法の制定</li> <li>【学習課題】〈問い〉「憲法に基づいた議会は、どのような過程を経て成立したのだろうか」</li> <li>〈問い〉「日本の政治における『近代化』の特徴とはどのようなものだろうか」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由民権運動が始まった背景やその後の展開について考察し、理解する。</li> <li>大日本帝国憲法が制定される過程と憲法の内容を理解する。</li> <li>大日本帝国憲法の特徴について江戸時代の政治体制と比較、考察し、理解する。</li> </ul>	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>(B) 自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の特徴等を理解している。</li> <li>(B) 自由民権運動の背景、大日本帝国憲法の特徴を、前時代の政治体制と比較して、表現している。</li> <li>(B) 自由民権運動の展開と大日本帝国憲法制定との関係について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テスト</li> <li>ワークシート、振り返り等の記述</li> <li>評価問題</li> </ul>
第6時	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の産業革命と日清戦争</li> <li>【学習課題】〈問い〉「日本はどのように産業革命を進展させていったのだろうか」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>明治期の日本で進展した産業革命の背景や特徴について考察し、理解する。</li> <li>日清戦争及び戦後の国際情勢について考察する。</li> </ul>	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>(B) 明治期における産業革命を理解している。</li> <li>(B) 日清戦争について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>小テスト</li> <li>ワークシート、振り返り等の記述</li> </ul>
第7時	<ul style="list-style-type: none"> <li>帝国主義</li> <li>【学習課題】〈問い〉「列強が様々な地域を植民地化する過程で、欧米諸国の関係はどのように変化したのだろうか」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>帝国主義時代における世界分割の特徴や列強間の国際関係の再編を考察し、理解する。</li> <li>中国が列強の進出を受けていたことを理解する。</li> </ul>	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>(B) 帝国主義時代の主な分割対象や、列強の中国進出とこれに対する中国の反応を理解している。</li> <li>(B) 帝国主義時代の世界分割の特徴や現代の諸問題との関連について考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テスト</li> <li>ワークシート、振り返り等の記述</li> </ul>
第8時	<ul style="list-style-type: none"> <li>日露戦争と韓国併合</li> <li>【学習課題】〈問い〉「日露戦争での日本の勝利は、アジアにどのような影響を与えたのだろうか」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日露戦争から韓国併合に至る過程について理解する。</li> <li>日露戦争の結果がアジアに与えた影響について考察する。</li> <li>日本が不平等条約の改正に成功したことを理解する。</li> </ul>	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>(B) 日露戦争の背景・経過と講和条約の内容について理解している。</li> <li>(B) 20世紀初頭の東アジア情勢について考察・表現している。</li> <li>(B) 日露戦争の結果が、アジアに与えた影響について考察・表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テスト</li> <li>ワークシート、振り返り等の記述</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>総括</li> <li>【学習課題】〈単元を貫く問い〉「日本の近代化や欧米諸国の帝国主義政策が世界にもたらした影響はどのようなものだろうか」</li> </ul>		○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎授業における学習成果に対して、ポートフォリオ評価を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テスト</li> <li>振り返り等の記述</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元を貫く問いを記述する。</li> </ul>	○	○	○	5(1)参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>考査の記述</li> </ul>

## 4 本時の指導と評価の計画

## (1) 本時の目標

大日本帝国憲法の内容、大日本帝国憲法の特徴について江戸時代の政治体制と比較・考察し、明治政府の目指した「政治の近代化」の特徴について表現する。

## (2) 本時の展開

(○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
導入 (5)	・前時の復習と本時の内容確認	・本時の授業内容について、江戸時代の政治体制と大日本帝国憲法の比較、考察を行うことを確認する。	・前時の確認テストは3分程度取り組ませ、自己採点を行う。
展開 (35)	・江戸時代の政治体制と大日本帝国憲法の比較 【問い】「どのようなところが、江戸時代と違っているのだろうか」	・江戸時代の政治体制について六つの事柄に分け、3グループに分かれて二つずつ調べ、ロイロノートに分かったことを投稿する。 ・生徒が投稿したものをクラス全体で共有し、明治政府の目指した「近代化」がどのようなものであったかを確認する。	・「近代化」という視点を伝え、江戸時代と明治時代での政治体制の変化を考察させる。 ・ロイロノートの機能を活用し、投稿した意見を全体で共有できるようにする。 ●ワークシート【知】 ●ロイロノート【思】
まとめ (10)	・本時の振り返り 【問い】「日本の政治における『近代化』の特徴はどのようなものだろうか」	・【問い】の答えをロイロノートに記述し、提出する。 ・授業の振り返りシートを記入し、提出する。	・政治における日本の近代化は、江戸時代から大きく変化し、天皇主権・三権分立・議会の制定などであったことを確認させる。 ○評価問題【思】 ●ワークシート(振り返りシート)【態】

※「○評定に用いる評価」の項目は、単元終了後のポートフォリオ評価として活用する。

## (3) 本時の評価規準 5(1)参照

## 5 評価問題(評価材料)及び評価規準

## (1) 評価問題の評価規準【思考・判断・表現】

大日本帝国憲法の内容、大日本帝国憲法の特徴について江戸時代の政治体制と比較・考察し、明治政府の目指した「政治の近代化」の特徴について表現している。

## 評価問題の内容

「日本の政治における『近代化』の特徴とはどのようなものだろうか」

## 評価問題の判断基準

「おおむね満足できる」状況(B)と判断される例

・日本の政治における近代化の特徴などが、二つ以上記述されており、30文字以上書かれている。

「十分満足できる」状況(A)と判断される例

・日本の政治における近代化の特徴が三つ以上記述されており、50文字以上書かれている。

「努力を要する」状況(C)と判断される生徒の例とその生徒への支援

・日本の政治における近代化の特徴が一つ記述されており、文章量が30文字以下である。

→共有されたノートを見直し、特徴を二つ以上捉え、30文字以上記述するように指導する。

## 6 成果と課題

授業実践のテーマは、「物事を比較し、自分たちで答えを探し、まとめる」とし、題材として「大日本帝国憲法下の明治近代政治と江戸時代の政治」の比較を取り上げた。

また、今回の授業では、ロイロノートの「共有ノート」の機能を使用し、リアルタイムでグループ全員が意見を共有できるようにした。結果、多くの生徒が自分の調べたことを記述し投稿することができた。また意見の記述も、多くの生徒が評価規準としていた50文字を超え、中には200文字以上書くことができる生徒もいた。デジタル化が進む中で、このようにICTを活用した意見の記述が今後も評価として重要になってくることを感じる結果となった。なお、評価A20名、評価B12名、評価Cは8名であった。

さらに、振り返りシートに授業の感想とともに「穴埋めや説明形式の授業と、今回の授業とを比べてどう思うか」という質問に答えさせたところ、多くの生徒から「全て調べるのは大変」「穴埋めや先生の説明が欲しい」という意見があった。また、一部の生徒からは「知識がないのに調べるのが難しかった」という意見もあった。

ほとんどの生徒は知識をしっかりと覚えて、それを基に調べる活動をしたと考えている様子であり、今後の方向性を考える上で参考になった。

今回の実践では、生徒の実態を基に、より思考しやすいプリント作りや評価問題などを工夫したが、まだまだ生徒全員に考えさせることは難しく、来年度以降の大きな課題となった。本校の歴史総合の在り方も含め、次年度以降も工夫した授業を実践していきたい。

#### 7 参考文献

- ・『日本政治史—現代日本を形作るもの』（清水唯一朗・瀧井一博・村井良太 有斐閣 2020年）
- ・『明治憲法史』（坂野潤治 ちくま新書 2020年）
- ・『憲法義解』（伊藤博文 岩波文庫 2019年復刻）
- ・『明治憲法の制定史話』（葦津珍彦 神社新報社 2018年）
- ・『帝国憲法物語—日本人が捨ててしまった贈り物』（倉山満 PHP研究所 2015年）